

# 経済性標準指標(野菜・普通作)を改訂しました

経営情報研究部

当所では、昭和45年に生産者に対し、野菜作の経済性の目安として「野菜作の経済性標準指標一覧」を策定しました。以後、技術内容や社会環境の変化に応じて内容を充実しつつ計7回の改訂を行ってきました。そしてこのたび、農業団体、普及指導部門、野菜作物研究部などの協力を得て、「作物別・作型別経済性標準指標一覧(野菜・普通作)2007年改訂版」ができ上がりました。野菜で32品目73作型、普通作で4作物13類型を掲載しています。

今回の改訂では、各種経営試算のための基礎データとして実際の経営数値に近づけるため、共済掛け金等の費目の追加や施設・機械に関する費用の計算方法の変更を行った他、価格変動の目安の数値も掲載しました。指標の単価は5年間の市場単価の平均となっていますが、平均でも±20%程度の変動があります。資金計画等を作成する場合は、ある程度の価格低下を見越した計画を立てることが重要ですが、その目安として利用してください。

また普通作部門については、水稻の作付面積別や受委託に関する指標も策定しましたので、今後の水田農業の振興計画の策定等にご活用ください。

なお今回より電子データによる配布(CD)としました。県内市町村・農協本所、地域県政総合センター等に配布してありますので、生産者の経営改善等にご活用ください。

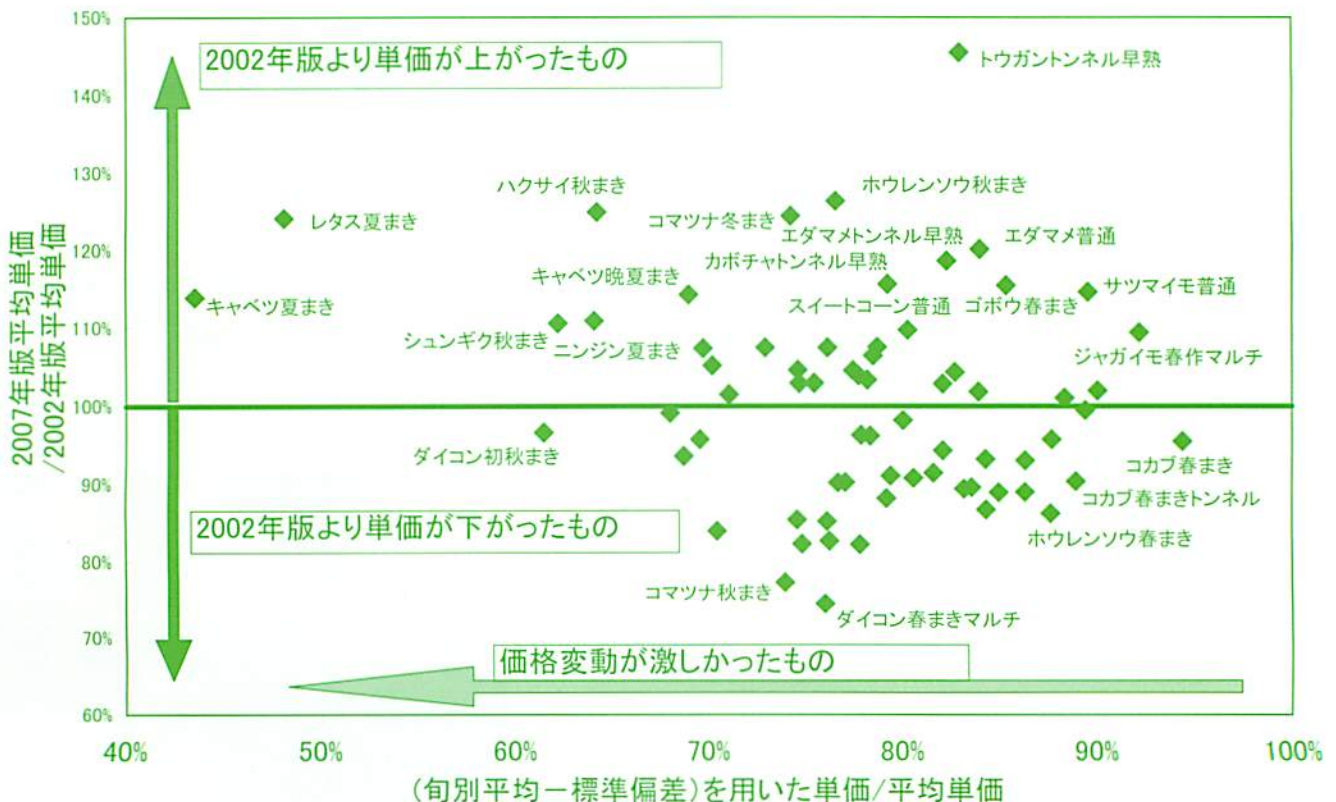


図 2002年度版との単価の比較と価格変動の傾向